

「地球温暖化や気候変動について学ぼう！」開催しました

熊本市を含む熊本連携中枢都市圏※では、令和 6 年度から令和 7 年度にかけて「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の第 2 次計画の策定を行っています。

こどもたちの考えや意見を次期計画の参考とさせていただくため、地球温暖化や気候変動について知り・考えることをテーマに、ワークショップを開催しました。

【開催概要】

実施日時：令和 7 年（2025 年）7 月 8 日

実施場所：中島小学校

対象者：4 学年（2 クラス・38 人）



地球温暖化や気候変動について知る！

ワークショップの前半では、「地球温暖化のメカニズム」や「地球温暖化の現状」について学びました。



地球温暖化や気候変動について考える！

ワークショップの後半では、「未来の熊本市がどのようなまちになってほしいか」や、「温室効果ガスを出さないために、家や学校ではどんなことができるか」などについてグループごとに話し合い、グループで出た意見を発表しました。

日頃から電気や水を大切に使えている？

毎日の生活の中で電気や水を大切に
使えているか振り返りました。



ワークショップに参加したこどもたちの多くは、「部屋を出るときは電気を消している」「冷蔵庫は必要なものを取り出したらすぐに閉めている」などの行動ができていることが分かりました。

家や学校でどんなことができる？

温室効果ガスを出さないために、
どのようなことができるかを考えました。



こどもたちからは、「トイレの大小を使い分ける」「段ボールを工作に使う」「商品を手前からとる」「遠いところに車で行くのは、時々にする」などの意見が出されました。

わたしたちの生活や生き物への影響は？

身近なわたしたちの生活や生き物に
どんな影響があるか話し合いました。



こどもたちからは、「人間だけでなく、動物も熱中症になる」「植物が育たなくなる」「外に出られなくなる」などの意見が出されました。

熊本市はどんなまちになってほしい？

こどもたちが大人になったとき、どのような熊本市になって欲しいかを考えました。

こどもたちからは、「自然豊かな町」「涼しくて、植物や生き物が生きやすいまち」「みんなが水、緑、電気を大切に使うまち」「熊本の果物や野菜が生産量全国 1 位になってほしい」などの意見が出ました。

※熊本連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適に暮らしていけるよう中枢都市である熊本市と近隣市町村が連携して様々な取り組みを実施するものです。現在 24 市町村がさまざまな分野で連携し、取り組みを進めています。次の地球温暖化対策実行計画は、荒尾市を除く 23 市町村で策定します。（荒尾市は独自で計画を策定済）